

(全体進行：教頭1)

## 1 校長挨拶

## 2 協議・交流 <②以降は運営協議会員の意見を中心に記録>

### ① 御嵩小 本年度のあゆみについて (学校職員より)

- ・登下校の様子、教育相談(カウンセリング)、運動会、コロナウイルス予防対策、差別・偏見を防ぐ道徳指導等について・・・教頭2
- ・授業時間の確保、学業の評価について・・・教務主任
- ・修学旅行、野外学習、PTA活動、環境美化、地域学校協働活動について・・・教頭1

### ② 児童の学習について (進行：運営協議会長)

- ・授業時間の確保は学校で工夫して何とかしてくださっているようでありがたい。
- ・授業では分かっているようなつもりでも、家に帰ったら理解が薄れていないか。  
⇒各学年で宿題を基本的には統一、少なめでやりきれないように出している。個に合わせたものも考えていきたい。
- ・積み重ねが大切だが、今年の場合、積み残しが出てこないか心配もある。次年度に学び直しをする場があると良いが、何とか補充できるような見通しはあるか。  
⇒次年度に補充できる学年は良いが、高学年は今が大切。時間は少し少なくなっているかもしれないが、その時間の中で範囲を教えきる、あるいは確認問題等をやりきる形で進めたい。

### ③ 学校と家庭の連携について

- ・欠席する児童の欠席理由がこれまでと変わってきている。明らかな病気やけがだけではなく、最近では疲れや筋肉痛といった理由も出てきた。
- ・保護者や児童本人のカウンセリング希望が増えてきたのはなぜか。  
⇒個々の事情もあり、理由は多様化しているが、自ら希望される保護者や児童が増えている。親の困り感も多いと思われる。子どもが精神的に自立できる方向へ導いてやりたい。

### ④ 登下校の様子について

- ・コロナ禍になって以来、通学中の挨拶の声が減った。マスクのせいだけではない。挨拶のときは顔だけでも相手に向けてほしい。
- ・リーダー(通学班長)がホイッスルを使わなくなってから、通学班の歩き方が良くない。また、分団旗の使い方も良くない。リーダーの指導が必要であるし、吹かないタイプ(スイッチ式)ホイッスルの購入も考える。

### ⑤ 地域について

- ・保護者自身がスマホやゲームに依存しているケースもあり、その影響が確実に子どもの姿にも表れている。
- ・不審者が出た場合、広報みただけで伝えることはできないだろうか。一報入れたうえで、「地域の皆さんも外へ出て、子どもたちを見守ってください。」と頼めたら少し安心できるのではないか。

### ⑥ 行事について

- ・修学旅行は自分たちでプランを考えて、意欲的に取り組んでいると聞いた。とても嬉しい話である。
- ・意欲をもって一生懸命取り組むことが、身につくための一番の手段で、これは教育の本質ではないかと思う。自分たちで考えて行えば、決めたことは守るだろう。まずやってみようという意欲があれば、学校は楽しくなり、学校が好きだという子も増える。能力はあとからでも伸びる。

## 3 校長よりお礼の言葉

- ・コロナ禍であっても、地域の方々とともにやっていけることを探していきたい。

## 4 今後の予定

- ・11月25日(火)
- ・2月25日(木)